

企画書

・アイデア

私は神戸市のオープンデータは、その情報を自由に閲覧できること自体に価値があると考えた。そこで、通常のブラウザから多言語で神戸市のオープンデータに手軽にアクセスできれば、各国からの観光客にとって有用なソフトウェアになるのではと考え制作した。

・アプリの詳しい内容

data.KOBE から取得した情報を、Microsoft 社の翻訳 API を通して多言語化し、Google Map 上に表示する。また、表示するオープンデータの種類を自由に変更できる。

対応言語一覧：

アラビア語,ブルガリア語,カタロニア語,中国語（簡体字）,中国語（繁体字）,クロアチア語,チェコ語,デンマーク語,オランダ語,英語,エストニア語,フィンランド語,フランス語,ドイツ語,ギリシャ語,ハイチ語,ヘブライ語,ヒンディー語,モン語,ハンガリー語,インドネシア語,イタリア語,日本語,スワヒリ語,クリンゴン語,クリンゴン語（pIqaD）,韓国語,ラトビア語,リトアニア語,マレー語,マルタ語,ノルウェー語,ペルシア語,ポーランド語,ポルトガル語,オトミ語,ルーマニア語,ロシア語,セルビア語（キリル文字）,セルビア語（ラテン）,スロバキア語,スロベニア語,スペイン語,スウェーデン語,タイ語,トルコ語,ウクライナ語,ウルドゥー語,ベトナム語,ウェールズ語,ユカテコ語

・使用しているオープンデータ

神戸市行政データ API

データ種別：

施設、ロケ地情報（エリア別）、夜景、公園、野外彫刻作品一覧、避難所、トイレ、観光地情報、まちかど救急ステーション（AED 設置）

・どのように課題解決に貢献できるか

神戸市のオープンデータには有用なものが多いにも関わらず、すぐに閲覧できる状態にはなっていない。また、多言語化された観光情報アプリもあるが、選択できる言語は限定的で、iOS と Android にしか対応していない。本アプリは端末の種類を問わずブラウザさえあれば、母国語を使って神戸市のオープンデータにアクセスできる。

・アピールポイント

Ajax 技術を使い、動的に翻訳結果を生成することができる。また、翻訳 API を使用することで少数言語にも対応している。